

はじめに



このスタイルブックは 2021(令和3)年から2022(令和4)年にかけて本願寺新報に掲載したポスター「仏事のすすめ」などを中心に編集したものです。全体を通してのテーマは「つながりの中で生きている」でした。私たちは皆「つながり」のなかで生きています。家族、友人、地域・社会、故郷などなど。その「つながり」は今ここにいる私を通して過去から未来へという時間と全世界へと広がる空間を超え、すべての「いのち」へと広がっています。そんな「つながり」の中を私は生きているのです。報恩講、春・秋のお彼岸などの年間の仏事。初参式、成人式、結婚式などの人生の節目での喜びの仏事。葬儀・中陰・年忌・月忌・墓参りなどの仏事。朝・晩のお参りなどの日常の仏事。そんな折々の仏事を通し阿弥陀さま・親鸞聖人の前に集うことで私たちは生きていくうえでの大切な「つながり」を感じ学んできたはずです。

しかし 2020(令和2)年から広まった新型コロナウイルス感染症は私たちの生活を変えてしまいました。それを機に以前から進んでいた、お寺離れ、仏事・法事離れが加速度的にすすんでいます。熱心に仏事をいとなんできたご門徒からも「お墓やお仏壇は次世代に迷惑や負担をかけたくないから、私の代で処分したい」という声が聞こえてきます。果たしてお寺やお墓・お仏壇・法事などは迷惑なこと、負担をかけるものなのでしょうか。今を生きる私たちは効率と経済性を重視するあまり、大切な「つながり」を煩わしいもの、迷惑なものとして切り捨てているのでは、という疑問が湧いてきます。

今一度仏事を通して「つながり」のすばらしさと大切さを見つけてほしい、そのような願いのもとでスタイルブックは作られています。掲載している漫画の内容の多くはご門徒の体験に基づいたものです。そこにはご門徒の人生が息づいていますが、単にお話しくださった方の個人的体験ではありません。多くの方がどこかに置き忘れてしまった体験ではないでしょうか。このスタイルブックを多くの方にご覧いただき、仏事や法座のうちにその内容を手掛かりに語りあっていただけたらと思います。一人でも多くの方に利用いただき阿弥陀さま・親鸞聖人の願いが届くことを願っています。

スタイルブックとは

もともとの意味は洋服、服装などの型を写真や図で示し収録した本のこと。ここでは「仏事を通してつながりや、そこに至るまでの背景などの生き方＝スタイルとして一冊に編集した本」と定義して使っています。

